

< 目 次 >

1. 主要業績 -----	2 頁
2. 平成 16 年度末保障機能別保有契約高 -----	4 頁
3. 平成 16 年度一般勘定資産の運用状況 -----	5 頁
4. 貸借対照表 -----	12 頁
5. 損益計算書 -----	16 頁
6. 経常利益等の明細（基礎利益） -----	18 頁
7. 損失処理案 -----	19 頁
8. 債務者区分による債権の状況 -----	19 頁
9. リスク管理債権の状況 -----	19 頁
10. ソルベンシー・マージン比率 -----	20 頁
11. 平成 16 年度特別勘定の現況 -----	21 頁
12. 保険会社及びその子会社等の状況 -----	22 頁

平成 16 年度決算のお知らせ

平成 17 年 5 月 23 日
三井住友海上シティインシュアランス生命保険株式会社

当社は、5 月 20 日の取締役会において平成 16 年度の決算を決議いたしました。また、損失処理案については、来る 7 月 6 日開催の第 4 回定時株主総会に付議します。これらの概要は次のとおりです。

1. 主要業績

(1) 保有契約高

(単位：件、億円、%)

	平成 15 年度末				平成 16 年度末			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度比		前年度比		前年度比		前年度比
個 人 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-
個人年金保険	54,863	975.5	4,774	1,215.6	93,891	171.1	8,856	185.5
団 体 保 険	—	—	-	-	—	—	-	-
団体年金保険	—	—	-	-	—	—	-	-

注 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資（ただし、個人変額年金保険については保険料積立金）と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

(2) 新契約高

(単位：件、億円)

	平成 15 年度				平成 16 年度			
	件 数	金 額			件 数	金 額		
			新 契 約	転換による 純 増 加			新 契 約	転換による 純 増 加
個 人 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-
個人年金保険	49,982	3,891	3,891	-	40,857	3,495	3,495	-
団 体 保 険	—	-	-		—	-	-	
団体年金保険	—	-	-		—	-	-	

注 個人年金保険の金額は、年金開始時における年金原資（ただし、個人変額年金保険については契約時の基本保険金額）です。

(3) 医療保障・生前給付保障等（年換算保険料）

(単位：百万円、%)

	平成 15 年度		平成 16 年度	
		前年度末比		前年度末比
年 換 算 保 険 料 (保 有 契 約)	20	665.1	41	205.3

注 1. 医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です。

(4) 主要収支項目

(単位：百万円、%)

	平成 15 年度		平成 16 年度	
		前年度比		前年度比
保 険 料 等 収 入	424,659	976.2	402,266	94.7
資 産 運 用 収 益	25,908	97,383.9	41,592	160.5
保 険 金 等 支 払 金	6,828	4,240.6	23,835	349.0
資 産 運 用 費 用	0	0.0	2	8,584.3
経 常 損 失	4,003	861.8	5,946	148.5

(5) 損失処理

(単位：百万円、%)

	平成 15 年度		平成 16 年度	
		前年度比		前年度比
契約者配当準備金繰入額	-	-	-	-
当 期 未 処 理 損 失	4,477	474.0	6,657	148.7

(6) 総資産

(単位：百万円、%)

	平成 15 年度		平成 16 年度	
		前年度比		前年度比
総 資 産	516,450	1,052.1	935,287	181.1

2. 平成16年度末保障機能別保有契約高

(単位：件、億円)

項 目		個 人 保 険		個人年金保険		団 体 保 険		合 計	
		件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
死亡保障	普 通 死 亡	-	-	93,814	8,510	-	-	93,814	8,510
	災 害 死 亡	-	-	92,663	1,038	-	-	92,663	1,038
	その他の条件付死亡	-	-	—	—	-	-	—	—
生 存 保 障		-	-	93,891	8,856	-	-	93,891	8,856
入院保障	災 害 入 院	-	-	-	-	-	-	-	-
	疾 病 入 院	-	-	-	-	—	—	-	-
	その他の条件付入院	-	-	-	-	-	-	-	-
障 害 保 障		-	—	-	—	-	—	-	—
手 術 保 障		-	—	-	—	—	—	-	—

項 目		団 体 年 金 保 険		財形保険・財形年金保険		合 計	
		件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
生 存 保 障		-	-	-	-	-	-

項 目		医 療 保 障 保 険	
		件 数	金 額
入 院 保 障		-	-

項 目		就 業 不 能 保 障 保 険	
		件 数	金 額
就 業 不 能 保 障		-	-

注 「生存保障」欄の金額は、個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資（ただし、個人変額年金保険については保険料積立金）と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

3. 平成 16 年度の一般勘定資産の運用状況

(1) 平成 16 年度の資産の運用状況

当社一般勘定資産におきましては、安全性と中長期的な安定収益の確保を基本方針とし、債券を中心とした運用を行っております。外貨建て定額個人年金保険の運用に関しましては、ALM(資産負債総合管理)の観点から、為替リスク・金利リスク・信用リスク等に留意した上で、外貨建て債券への投資を行っております。

(2) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	平成 15 年度末		平成 16 年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	18,443	47.5	16,623	28.0
買 現 先 勘 定	-	-	-	-
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	-	-	-	-
買 入 金 銭 債 権	-	-	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-	-	-
金 銭 の 信 託	-	-	5,398	9.1
有 価 証 券	100	0.3	254	0.4
公 社 債	99	0.3	253	0.4
株 式	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	1	0.0	1	0.0
貸 付 金	15	0.0	62	0.1
不 動 産	74	0.2	172	0.3
繰 延 税 金 資 産	-	-	3,773	6.4
そ の 他	20,207	52.0	33,054	55.7
貸 倒 引 当 金	-	-	-	-
合 計	38,841	100.0	59,340	100.0
うち外貨建資産	-	-	5,459	9.2

(3) 資産の増減

(単位：百万円、%)

区 分	平成 15 年度末	平成 16 年度末
	金 額	金 額
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	12,806	△ 1,820
買 現 先 勘 定	-	-
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	-	-
買 入 金 銭 債 権	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-
金 銭 の 信 託	-	5,398
有 価 証 券	99	153
公 社 債	99	153
株 式	-	-
外 国 証 券	-	-
公 社 債	-	-
株 式 等	-	-
そ の 他 の 証 券	0	0
貸 付 金	15	47
不 動 産	13	98
繰 延 税 金 資 産	-	3,773
そ の 他	16,083	12,846
貸 倒 引 当 金	-	-
合 計	29,018	20,498
うち外貨建資産	-	5,459

(4) 資産運用関係収益

(単位：百万円)

区 分	平成 15 年度	平成 16 年度
利 息 及 び 配 当 金 等 収 入	0	2
預 貯 金 利 息	0	0
有価証券利息・配当金	0	1
貸 付 金 利 息	0	0
不 動 産 賃 貸 料	-	-
その他利息配当金	-	-
商 品 有 価 証 券 運 用 益	-	-
金 銭 の 信 託 運 用 益	-	1
売 買 目 的 有 価 証 券 運 用 益	-	-
有 価 証 券 売 却 益	0	-
国 債 等 債 券 売 却 益	-	-
株 式 等 売 却 益	-	-
外 国 証 券 売 却 益	-	-
そ の 他	0	-
有 価 証 券 償 還 益	-	-
金 融 派 生 商 品 収 益	-	-
為 替 差 益	0	-
そ の 他 運 用 収 益	-	-
合 計	0	4

(5) 資産運用関係費用

(単位：百万円)

区 分	平成 15 年度	平成 16 年度
支 払 利 息	-	0
商 品 有 価 証 券 運 用 損	-	-
金 銭 の 信 託 運 用 損	-	-
売 買 目 的 有 価 証 券 運 用 損	-	-
有 価 証 券 売 却 損	0	-
国 債 等 債 券 売 却 損	-	-
株 式 等 売 却 損	-	-
外 国 証 券 売 却 損	-	-
そ の 他	0	-
有 価 証 券 評 価 損	-	-
国 債 等 債 券 評 価 損	-	-
株 式 等 評 価 損	-	-
外 国 証 券 評 価 損	-	-
有 価 証 券 償 還 損	-	-
金 融 派 生 商 品 費 用	-	-
為 替 差 損	-	1
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	-	-
貸 付 金 償 却	-	-
貸 貸 用 不 動 産 等 減 価 償 却 費	-	-
そ の 他 運 用 費 用	-	1
合 計	0	2

(6) 資産運用に係わる諸効率

① 資産別運用利回り

(単位：％)

区 分	平成 15 年度	平成 16 年度
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	0.00	0.00
買 現 先 勘 定	-	-
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	-	-
買 入 金 銭 債 権	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-
金 銭 の 信 託	-	0.38
公 社 債	0.30	0.78
株 式	-	-
外 国 証 券	-	-
貸 付 金	1.97	2.25
不 動 産	-	-
一 般 勘 定 計	0.00	0.00
うち 海 外 投 融 資	-	-

注 利回り計算式の分母は帳簿価額ベースの日々平均残高、分子は経常損益中、資産運用収益－資産運用費用として算出した利回りです。

② 売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区 分	平成 15 年度		平成 16 年度	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益
売 買 目 的 有 価 証 券	-	-	5,398	△ 15

③ 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区 分	平成 15 年度末						平成 16 年度末					
	帳簿 価額	時価	差	損 益			帳簿 価額	時価	差	損 益		
				うち 差益	うち 差損					うち 差益	うち 差損	
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
責任準備金対応債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	99	100	0	0	-	-	250	254	4	4	-	-
公 社 債	98	99	0	0	-	-	249	253	3	3	-	-
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	1	1	0	0	-	-	1	1	0	0	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	99	100	0	0	-	-	250	254	4	4	-	-
公 社 債	98	99	0	0	-	-	249	253	3	3	-	-
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	1	1	0	0	-	-	1	1	0	0	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

なお、時価のない有価証券はありません。

④ 金銭の信託の時価情報

(単位：百万円)

区 分	平成 15 年度末					平成 16 年度末				
	帳簿 価額	時価	差	損 益		帳簿 価額	時価	差	損 益	
				うち 差益	うち 差損				うち 差益	うち 差損
金 銭 の 信 託	-	-	-	-	-	5,414	5,398	△15	-	15

・ 運用目的の金銭の信託

(単位：百万円)

区 分	平成 15 年度		平成 16 年度	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益
運用目的の金銭の信託	-	-	5,398	△ 15

なお、満期保有目的・責任準備金対応・その他の金銭の信託はありません。

4. 貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	平成15年度 (平成16年3月31日現在)	平成16年度 (平成17年3月31日現在)	科 目	平成15年度 (平成16年3月31日現在)	平成16年度 (平成17年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
現金及び預貯金	23,068	20,083	保険契約準備金	480,629	893,721
預 貯 金	23,068	20,083	支 払 備 金	784	1,789
金 銭 の 信 託	-	5,398	責 任 準 備 金	479,844	891,931
有 価 証 券	470,055	871,293	代 理 店 借	4,153	2,609
国 債	99	253	再 保 険 借	14	309
その他の証券	469,956	871,039	そ の 他 負 債	7,565	5,002
貸 付 金	15	62	未 払 法 人 税 等	3	3
保険約款貸付	15	62	未 払 金	2,975	1,838
不動産及び動産	188	291	未 払 費 用	1,209	1,051
建 物	74	172	預 り 金	11	47
動 産	113	118	仮 受 金	3,365	2,060
再 保 険 貸	267	-	価 格 変 動 準 備 金	0	5
そ の 他 資 産	22,855	34,384	繰 延 税 金 負 債	0	-
未 収 金	128	787	負債の部合計	492,362	901,648
前 払 費 用	12	18	(資本の部)		
未 収 収 益	0	0	資 本 金	22,445	28,310
預 託 金	105	186	資 本 剰 余 金	6,120	11,985
仮 払 金	3,188	1,897	資 本 準 備 金	6,120	11,985
保険業法第113条 繰 延 資 産	19,421	31,494	利 益 剰 余 金	△ 4,477	△ 6,657
繰 延 税 金 資 産	-	3,773	当 期 未 処 理 損 失	4,477	6,657
			(当期純損失) (	3,532) (	2,180)
			株 式 等 評 価 差 額 金	0	2
			資本の部合計	24,088	33,639
資産の部合計	516,450	935,287	負債及び資本の部合計	516,450	935,287

(貸借対照表の注記)

平成 15 年度	平成 16 年度
1. 有価証券はすべて時価のあるものであり、売買目的有価証券については時価法(売却原価の算定は移動平均法)、その他有価証券については3月末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価の算定は移動平均法)によっております。 なお、その他有価証券の評価差額については、全部資本直入法により処理しております。 また、売買目的有価証券についてはすべて保険業法第118条の規定による特別勘定に属しております。 2. 不動産及び動産の減価償却の方法は定率法により行っております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物については、定額法により行っております。 なお、動産のうち取得価額が10万円以上20万円未満のものについては、3年間で均等償却を行っております。 3. 外貨建資産及び負債は決算日の為替相場により円換算しております。 4. 貸倒引当金は、資産の自己査定基準および償却・引当基準に則り、次のとおり計上することとしております。 破産、民事再生等、法的形式的な経営破綻の事実が発生している債務者(以下「破綻先」という)に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者(以下「実質破綻先」という)に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。 また、現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者(以下「破綻懸念先」という)に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。 上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績等から算出した貸倒実績率を債権額に乗じた額を計上することとしております。 すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の引当を行っております。 ただし、上記の手続きにおいて査定した結果、当社の債権について全額回収可能であり、貸倒引当金を計上するに及ばないと判断し、計上しておりません。 5. 価格変動準備金は、保険業法第115条の規定に基づき算出した額を計上しております。 6. 消費税および地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。	1. 有価証券(金銭の信託において信託財産として運用している有価証券を含む)はすべて時価のあるものであり、売買目的有価証券については時価法(売却原価の算定は移動平均法)、その他有価証券については3月末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価の算定は移動平均法)によっております。 なお、その他有価証券の評価差額については、全部資本直入法により処理しております。 また、売買目的有価証券についてはすべて保険業法第118条の規定による特別勘定に属しております。 2. 不動産及び動産の減価償却の方法は、建物については定額法により、建物以外については定率法により行っております。 なお、動産のうち取得価額が10万円以上20万円未満のものについては、3年間で均等償却を行っております。 3. 外貨建資産及び負債は決算日の為替相場により円換算しております。 4. 貸倒引当金は、資産の自己査定基準および償却・引当基準に則り、次のとおり計上することとしております。 破産、民事再生等、法的形式的な経営破綻の事実が発生している債務者(以下「破綻先」という)に対する債権及び実質的に経営破綻に陥っている債務者(以下「実質破綻先」という)に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。 また、現状、経営破綻の状況にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者(以下「破綻懸念先」という)に対する債権については、債権額から担保の回収可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。 上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績等から算出した貸倒実績率を債権額に乗じた額を計上することとしております。 すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて上記の引当を行っております。 ただし、上記の手続きにおいて査定した結果、当社の債権について全額回収可能であり、貸倒引当金を計上するに及ばないと判断し、計上しておりません。 5. 価格変動準備金は、保険業法第115条の規定に基づき算出した額を計上しております。 6. 消費税および地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

平成 15 年度	平成 16 年度
7. 責任準備金は、保険業法第 116 条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については次の方式により計算しています。 (1) 標準責任準備金の対象契約については金融庁長官が定める方式(平成 8 年大蔵省告示第 48 号)。 (2) 標準責任準備金の対象とならない契約については、保険業法施行規則 69 条第 4 項第 3 号に定める方式。 8. 保険業法施行規則の改正により、「当期損失」は、当年度から「当期純損失」として表示しております。 9. 特別勘定の資産の額は 480,524 百万円であります。なお、負債の額も同額であります。 10. 保険業法第 113 条繰延資産の償却額の計算は、定款の規定に基づき、行っております。 11. 不動産及び動産の減価償却累計額は、99 百万円であります。 12. 保険業法施行規則第 17 条の 3 第 1 項第 3 号に規定する純資産は 0.3 百万円であります。 13. 支配株主に対する金銭債権はありません。 支配株主に対する金銭債務総額は 36 百万円であります。 14. 担保に供されている資産の額は 99 百万円であります。 15. 外貨建負債の額は、5 百万円であります。(外貨額 52,820 米ドル) 16. 保険業法第 259 条の規定に基づく保険契約者保護機構に対する当年度末における当社の今後の負担見積額は 75 百万円であります。 なお、当該負担金は拠出した年度の事業費として処理しております。 17. 繰延税金資産の総額は 8,586 百万円、繰延税金負債の総額は 6,983 百万円であります。 繰延資産のうち、評価性引当額として控除した額は 1,604 百万円であります。 繰延税金資産の発生の主な原因別内訳は、保険契約準備金 138 百万円、税法に定める減価資産損金算入限度超過額 236 百万円、税法に定める繰延資産損金算入限度超過額 7 百万円、未払法人事業税および未払事業所税 325 百万円、賞与引当金繰入限度超過額 32 百万円、繰越欠損金 6,242 百万円であります。 繰延税金負債の発生の主な原因別内訳は、保険業法第 113 条繰延資産 6,982 百万円であります。	7. 責任準備金は、保険業法第 116 条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については次の方式により計算しています。 (1) 標準責任準備金の対象契約については金融庁長官が定める方式(平成 8 年大蔵省告示第 48 号)。 (2) 標準責任準備金の対象とならない契約については、平準純保険料式。ただし、特別勘定にかかる保険料積立金については、保険業法施行規則 69 条第 4 項第 3 号に定める方式。 8. 特別勘定の資産の額は 879,402 百万円であります。なお、負債の額も同額であります。 9. 保険業法第 113 条繰延資産の償却額の計算は、定款の規定に基づき、行っております。 10. 不動産及び動産の減価償却累計額は、177 百万円であります。 11. 保険業法施行規則第 17 条の 3 第 1 項第 3 号に規定する純資産は 2 百万円であります。 12. 支配株主に対する金銭債権はありません。 支配株主に対する金銭債務総額は 55 百万円であります。 13. 担保に供されている資産の額は 253 百万円であります。 14. 外貨建資産の額は、5,459 百万円であります。(外貨額 17 百万米ドル、42 百万豪ドル) 外貨建負債の額は、5,415 百万円であります。(外貨額 17 百万米ドル、42 百万豪ドル) 15. 保険業法第 259 条の規定に基づく保険契約者保護機構に対する当年度末における当社の今後の負担見積額は 265 百万円であります。 なお、当該負担金は拠出した年度の事業費として処理しております。 16. 繰延税金資産の総額は 15,135 百万円、繰延税金負債の総額は 11,360 百万円であります。 繰延税金資産の発生の主な原因別内訳は、保険契約準備金 2,287 百万円、税法に定める減価資産損金算入限度超過額 282 百万円、税法に定める繰延資産損金算入限度超過額 5 百万円、未払法人事業税および未払事業所税 217 百万円、価格変動準備金繰入額 1 百万円、未払費用否認額 60 百万円、繰越欠損金 12,281 百万円であります。 繰延税金負債の発生の主な原因別内訳は、保険業法第 113 条繰延資産 11,360 百万円であります。

平成 15 年度	平成 16 年度
18. 当期における法定実効税率は 36.2%であり、税効果会計適用後の法人税等の負担率は 11.8%であります。 その差異の主な内訳は、評価性引当金に係る差異△23.7%、交際費等永久に損金に算入されないものに係る差異△0.3%、住民税均等割額による差異 △0.1%であります。 19. 資本の欠損は 4,477 百万円であります。	17. 当期における法定実効税率は 36.2%であり、税効果会計適用後の法人税等の負担率は 63.3%であります。 その差異の主な内訳は、評価性引当金の変動にかかる差異 26.9%、交際費等永久に損金に算入されないものに係る差異△0.3%、受取配当金等永久に益金に算入されないものにかかる差異 0.6%、住民税均等割額による差異 △0.1%であります。 18. 資本の欠損は 6,657 百万円であります。 19. 保険業法施行規則第 73 条第 3 項において準用する同令第 71 条第 1 項に規定する再保険を付した部分に相当する支払備金の金額は 20 百万円であり、同令第 71 条第 1 項に規定する再保険を付した部分に相当する責任準備金の金額は 6 百万円であります。

5. 損益計算書

(単位：百万円)

科 目		平成15年度 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	平成16年度 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)
経常損益の部	経常収益	450,662	445,513
	保険料等収入	424,659	402,266
	保険料収入	423,765	401,396
	再保険収入	893	870
	資産運用収益	25,908	41,592
	利息及び配当金等収入	0	2
	預貯金利息	0	0
	有価証券利息・配当金	0	1
	貸付金利息	0	0
	金銭の信託運用益	-	1
	有価証券売却益	0	-
	為替差益	0	-
	特別勘定資産運用益	25,908	41,588
	その他の経常収益	93	1,653
	年金特約取扱受入金	93	1,652
	その他の経常収益	0	1
	経常費用	454,666	451,459
	保険金等支払金	6,828	23,835
	保険金	1,540	7,476
	年金	-	22
	給付金	-	4
	解約返戻金	4,697	14,463
特別損益の部	その他の返戻金	195	226
	再保険料	395	1,641
	責任準備金等繰入額	439,240	413,091
	支払準備金繰入額	717	1,005
	責任準備金繰入額	438,523	412,086
	資産運用費用	0	2
	支払利息	-	0
	有価証券売却損	0	-
	為替差損	-	1
	その他の運用費用	-	1
	事業費用	24,077	25,153
	その他の経常費用	4,004	5,948
	税金	1,516	1,371
	減価償却費	59	77
	保険業法第113条繰延資産償却費	2,427	4,499
	その他の経常費用	0	0
	(保険業法第113条繰延額)	△19,483	△16,572
	経常損失	4,003	5,946
特別損益の部	特別利益	-	-
	特別損失	0	5
	不動産等処分損	-	0
	価額変動準備金繰入額	0	5
税法	引当金及び住民税額	4,003	5,952
法人税等調整額		3	3
当期純損失		△475	△3,775
当期純損失		3,532	2,180
前期繰越損失		944	4,477
当期未処理損失		4,477	6,657

(損益計算書の注記)

平成 15 年度	平成 16 年度
1. 有価証券売却益の主な内訳は、その他の証券 0.1 百万円であります。	1. 金銭の信託運用益には、評価損が 38 百万円含まれております。
2. 特別勘定資産運用益の主な内訳は、その他の証券 25,908 百万円であります。	2. 特別勘定資産運用益の主な内訳は、その他の証券 41,588 百万円であります。
3. ソフトウェア会計処理として、自社利用の全てのソフトウェアを取得時又は支出時に費用計上しております。	3. ソフトウェア会計処理として、自社利用の全てのソフトウェアを取得時又は支出時に費用計上しております。
4. 1株当たりの当期純損失は、1,275,081 円 67 銭であります。	4. 1株当たりの当期純損失は、313,292 円 31 銭であります。
5. 保険業法施行規則の改正により、従来の「税引前当期損失」および「当期損失」は、当年度から「税引前当期純損失」および「当期純損失」として表示しております。	

6. 経常利益等の明細（基礎利益）

(単位：百万円)

	平成 15 年度	平成 16 年度
基 礎 利 益 A	△ 3,622	△ 1
キ ャ ピ タ ル 収 益	0	-
金 銭 の 信 託 運 用 益	-	-
売 買 目 的 有 価 証 券 運 用 益	-	-
有 価 証 券 売 却 益	0	-
金 融 派 生 商 品 収 益	-	-
為 替 差 益	0	-
そ の 他 キ ャ ピ タ ル 収 益	-	-
キ ャ ピ タ ル 費 用	0	16
金 銭 の 信 託 運 用 損	-	15
売 買 目 的 有 価 証 券 運 用 損	-	-
有 価 証 券 売 却 損	0	-
有 価 証 券 評 価 損	-	-
金 融 派 生 商 品 費 用	-	-
為 替 差 損	-	1
そ の 他 キ ャ ピ タ ル 費 用	-	-
キ ャ ピ タ ル 損 益 B	0	△ 16
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△ 3,622	△ 18
臨 時 収 益	-	-
再 保 険 収 入	-	-
危 険 準 備 金 戻 入 額	-	-
そ の 他 臨 時 収 益	-	-
臨 時 費 用	381	5,928
再 保 険 料	-	-
危 険 準 備 金 繰 入 額	381	5,928
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸 付 金 償 却	-	-
そ の 他 臨 時 費 用	-	-
臨 時 損 益 C	△ 381	△ 5,928
経 常 利 益 (損 失) A+B+C	△ 4,003	△ 5,946

注 基礎利益には保険業法第 113 条繰延額が含まれております。各期の金額は次のとおりです。

平成 16 年度： 16,572 百万円

平成 15 年度： 19,483 百万円

また、平成 16 年度の基礎利益には金銭の信託運用益のうちインカム・ゲイン部分（17 百万円）が含まれております。

7. 損失処理案

(単位: 百万円)

	平成15年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	平成16年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
株 主 総 会 日	平成16年7月13日	平成17年7月6日
当 期 未 処 理 損 失 これを次のとおり処理します。	4,447	6,657
次 期 繰 越 損 失	4,447	6,657

8. 債務者区分による債権の状況

(単位: 百万円)

区 分	平成 15 年度末	平成 16 年度末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	-	-
危険債権	-	-
要管理債権	-	-
小計 (対合計比)	- (-)	- (-)
正常債権	15	63
合計	15	63

- 注 1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権とは、破産手続開始、再生手続開始又は再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 危険債権とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 要管理債権とは、3 カ月以上延滞貸付金及び条件緩和貸付金です。なお、3 カ月以上延滞貸付金とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3 カ月以上遅延している貸付金(注1及び2に掲げる債権を除く。)、条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金(注1及び2に掲げる債権並びに3 カ月以上延滞貸付金を除く。)です。
4. 正常債権とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、注1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権です。

9. リスク管理債権の状況

該当ありません。

10. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	平成 15 年度末	平成 16 年度末
ソ ル ベ ン シ ー ・ マ ー ジ ン 総 額 (A)	5,049	8,462
資本の部合計	4,666	2,142
価格変動準備金	0	5
危険準備金	381	6,310
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合 100%)	0	3
土地の含み損益×85% (マイナスの場合 100%)	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
リスクの合計額 $\sqrt{R_1^2 + (R_2 + R_3)^2} + R_4$ (B)	442	264
保 険 リ ス ク 相 当 額 R_1	381	0
予定利率リスク相当額 R_2	0	35
資産運用リスク相当額 R_3	187	221
経営管理リスク相当額 R_4	17	7
ソ ル ベ ン シ ー ・ マ ー ジ ン 比 率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	2,281.3%	6,394.0%

注 上記は、保険業法施行規則第 86 条、第 87 条、第 161 条、第 162 条及び第 190 条、平成 8 年大蔵省告示第 50 号の規定に基づいて算出しています。（「資本の部合計」は貸借対照表の「資本の部合計」から、繰延資産およびその他有価証券評価差額金を控除した額を記載しております。）

11. 平成16年度特別勘定の現況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	平成 15 年度末	平成 16 年度末
	金 額	金 額
個 人 変 額 保 険	-	-
個 人 変 額 年 金 保 険	480,524	879,402
団 体 年 金 保 険	-	-
特 別 勘 定 計	480,524	879,402

(2) 個人変額保険 (特別勘定) の状況

該当ありません。

(3) 個人変額年金保険 (特別勘定) の状況

① 保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	平成 15 年度末		平成 16 年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個 人 変 額 年 金 保 険	54,863	477,469	92,740	878,902

② 年度末個人変額年金保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区 分	平成 15 年度末		平成 16 年度末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	4,624	1.0	3,460	0.4
有 価 証 券	469,955	97.8	871,038	99.0
公 社 債	-	-	-	-
株 式	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	469,955	97.8	871,038	99.0
貸 付 金	-	-	-	-
そ の 他	5,944	1.2	4,904	0.6
貸 倒 引 当 金	-	-	-	-
合 計	480,524	100.0	879,402	100.0

③ 個人変額年金保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区 分	平成 15 年度	平成 16 年度
	金 額	金 額
利 息 配 当 金 等 収 入	208	1,228
有 価 証 券 売 却 益	-	-
有 価 証 券 償 還 益	-	-
有 価 証 券 評 価 益	25,828	41,094
為 替 差 益	-	-
金 融 派 生 商 品 収 益	-	-
そ の 他 の 収 益	-	-
有 価 証 券 売 却 損	15	25
有 価 証 券 償 還 損	-	-
有 価 証 券 評 価 損	114	710
為 替 差 損	-	-
金 融 派 生 商 品 費 用	-	-
そ の 他 の 費 用	-	-
収 支 差 額	25,908	41,588

12. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。